

ゆうあい

春号

2021.5

社会医療法人友愛会 広報誌



特集 友愛園開設30周年

友愛医療センター・豊見城中央病院
2病院の機能をご紹介します



2つの病院で下記の医療相談を承ります。

- 病気、治療の不安に関するご相談
- 退院後のご相談
- 治療費が心配
- ご意見や苦情など
- 福祉や介護制度のご相談
- セカンドオピニオンについて
- 地域の医療機関との連携
- かかりつけ医の紹介
- 受診、入院に関するご相談

友愛医療センター 地域医療部のご案内

友愛医療センターは、地域医療支援病院として沖縄県から承認を受けた病院です。地域医療支援病院とは、地域のクリニック（かかりつけ医）や介護施設などから紹介された患者さんに精密検査や手術治療などを行う医療機関です。当院での検査・治療が終了した方は紹介元のクリニック（かかりつけ医）や介護施設などへ逆紹介し、日常の健康管理を行っていただきます。患者さんの紹介、逆紹介の手続きやご相談は病院の地域連携室や入退院支援室で行います。



友愛医療センター 地域医療部

対応時間 月～金 8:30～17:00まで
土曜日 8:30～12:00まで

☎ 098-850-3811

豊見城中央病院 地域連携室のご案内

豊見城中央病院は南部地域を中心とした地域包括ケアシステムの拠点として、在宅訪問診療や外来診療、また介護施設やクリニックなどからの入院受け入れや各種検査を行っており、地域連携室はその相談対応窓口です。また当院は地域の介護・老人入居施設との医療・介護連携がスムーズに行えるよう、相談窓口「医療介護相談センター」を設置し、入退院支援看護師、ケアマネジャー、社会福祉士がご相談に対応しています。



豊見城中央病院 地域連携室

対応時間 月～金 8:30～17:30まで
土曜日 8:30～12:30まで

☎ 098-851-0501

社会医療法人 友愛会

ゆうあい 春号

2021.5

Contents

- 4 友愛医療センター 整形外科をご紹介します
- 8 豊見城中央病院 リハビリテーション機能拡充しました
- 10 豊見城中央病院 全人的痛みセンターをご紹介します
- 12 介護老人保健施設 友愛園は開設30周年を迎えました
- 16 豊見城中央病院附属 豊崎クリニック
PET/CT検査でがんを発見
- 18 ヒトトナリ、シゴトナリ #002
友愛医療センター 医療技術部 臨床工学科 副主任 石川裕彬
- 18 管理栄養士監修レシピ
「旬の食材を利用したメニュー ～サワラの梅肉蒸し～」
- 19 編集委員レポート

シンボルマークについて



マークの説明

シンボルマークは、二つのハートが重なり合っていてきています。これは人と人の心のふれあいを表現しています。心のふれあいが希薄になりがちな現代社会にあって、社会医療法人友愛会は、心のふれあいを大切に医療と福祉に貢献することを目指します。

マークの色

マークの中央部分はピンク色で「命」「生命」を象徴します。両側のハート形の部分は緑色で「若さ」と、緑豊かな豊見城市の「自然」を、青色の線は友愛会の理念ともいえる「心のふれあい」「友を愛し、隣人を愛する」を表しています。

マークのデザイン：和宇慶朝健先生

今号の表紙イラストは、春～初夏の訪れを感じさせるテッポウユリです。沖縄でテッポウユリといえば伊江島が有名ですね。「伊江島ゆり祭り」、今年も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となってしまいましたが、この表紙の中で元気に咲き誇るテッポウユリをご覧になった皆様が少しでも季節を感じられることを願っています。

整形外科をご紹介します



友愛医療センター副院長
毛利正玄 整形外科医師

当院整形外科は各分野がほぼ独立しており、それぞれの分野の医師は専任で担当疾患の治療にあたっています。これは大学病院や大規模病院と同じシステムで、各分野に優秀なスペシャリストがそろっていることの証しでもあります。加えまして琉球大学整形外科および福岡大学整形外科からの派遣医師にも恵まれ、当科はどの分野においても高度な医療を提供できていると自負しております。

手術を中心に
行っています

当科は沖縄本島のみならず県内離島や鹿児島県の離島からも日常的に患者さんが受診されます。多くはかかりつけ医からの紹介で、手術加療が中心となっており、2020年の年間手術件数は2,310件です。各分野の手術内容や特徴についてご紹介します。

脊椎外科



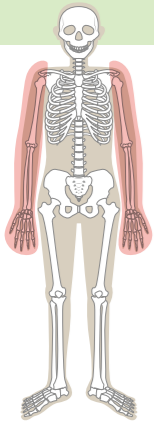
対象疾患 椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症などの脊椎に関する疾患に対応しています。

治療内容 全症例に顕微鏡手術を導入しています。顕微鏡手術は、低侵襲（小さい切開で体への負担が少ない）手術で、狭い術野でも明るい照明を当てて神経や血管などの細かい構造物を拡大し、さらには両眼で見ることによって立体的に確認できるため、安全で確実な手術を行うことができます。



顕微鏡手術中の様子

上肢の外科



【手・手関節疾患】

- 手根管症候群 → これらの疾患に対しては、患者さんの負担が少ない日帰り手術で対応しています。
- 腱鞘炎
- 手の外傷 → 手の外傷で神経や血管の損傷がある場合は、顕微鏡手術を行い、より細かい神経や血管も正確に修復できます。

【肩関節疾患】

- 腱板断裂
 - 拘縮肩
 - 投球障害肩
 - 肩石灰性腱炎
 - 反復性肩関節脱臼
- これらすべての疾患に対し、低侵襲の内視鏡手術を実施しています。

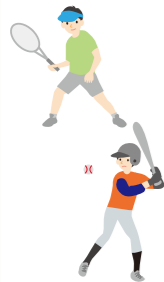
このほか、変形性肩関節症に対しては、他分野と同様人工関節手術を行っています。

【肘関節疾患】

子供から大人まで、肘に関するスポーツ障害に特化した手術を積極的に行っています。

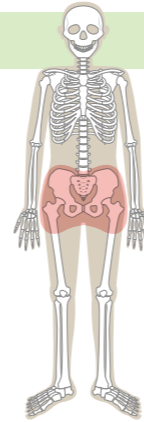
- 対象疾患**
- 上腕骨外側上顆炎（テニス肘）
 - 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎
 - 肘内側側副靭帯損傷
 - 関節ねずみ（関節内遊離体）

スポーツ障害に対しては、全身機能訓練（リコンディショニング）のリハビリも積極的に行っています。



友愛医療センター整形外科では、各分野において専門の医師が患者さん一人ひとりに合った治療を提供しています。手術を中心に行っており、特に人工関節置換術の実施件数については全国的にも高い実績を誇ります。2020年8月の病院移転を機に、外来・入院病棟・リハビリの機能を7階の1フロアに集約することで患者さんの移動による負担が少なくなり、スタッフ間の連携も取りやすくなるなど体制をより強化しています。

股関節



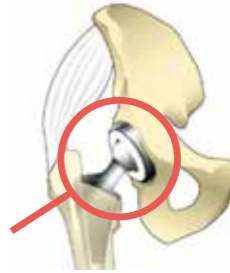
対象疾患 ● 変形性股関節症 ● リウマチ ● 白蓋形成不全 ● 大腿骨頭壊死症 など

治療内容

● 人工股関節置換術

傷ついた股関節の損傷面を取り除いて、人工関節に置き換える人工股関節置換術を行います。当院では、術後の回復が早い低侵襲手術を手掛けています。

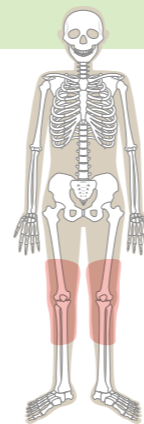
人工関節（○部分）に組み込まれている“ライナー”が軟骨の役目を果たし、スムーズな関節の動きが得られます。



● 股関節骨切り術

若年者や変形の軽い患者さんに対しては県内では数少ない骨盤や大腿骨の骨切り術なども行っています。

膝関節



膝関節におけるすべての疾患に対応しています。

治療内容

● 人工膝関節置換術 人工関節の耐用年数は15～20年といわれており、寿命がきたら再手術が必要となる場合がありますが、当院では20年を超える耐久性とスポーツなどにも耐える丈夫な人工膝関節を用いた手術を実現しています。

● 膝骨切り術 変形の少ない時期であれば、変形をそれ以上進めないためにコンピューターシミュレーションに基づき骨を矯正し、膝への荷重のかかり方が均一になるように調整する膝矯正骨切り術を提供しています。骨がくっつくまではリハビリが必要ですが、ご自身の関節を温存することができます。

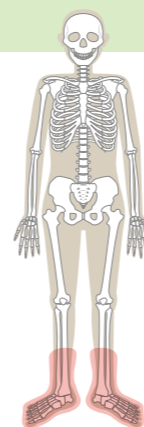
靭帯損傷に対する手術はもちろん、症例によっては培養軟骨移植などの再生医療にも対応しています。

○脚をまっすぐにする手術



左) 術前
中) 術前に行う術後のシミュレーション
右) 術後

足関節



対象疾患 ● 変形性足関節症 ● 外反母趾 など

治療内容 変形性足関節症に対しては次の治療法を行います。

- 関節鏡手術（骨棘切除、靭帯修復術）
- 骨切り術
- 関節固定術
- 人工足関節置換術

人工足関節置換術において当院では県内で使用例の少ない最新の人工足関節を使用することができます。

これは、活動性の高い人にも使えるもので、今までの人工足関節に比べてより耐久性の高い可能性のある人工足関節です。

外反母趾に対しては次の治療法を行います。

● DLMO（デルモ）法

一般的な外反母趾の手術は、骨を切って金属の板で骨を固定し、手術時間が平均1時間半、半年～1年後に金属を取るため再び手術が必要となりますが、当院では、骨を切り針金で固定する手術（DLMO法）を積極的に行っています。

この手術は手術時間が約15分ほど、約1か月後に外来受診で針金を抜くため患者さんへの負担が少ない手術となります。



手術前

手術直後

手術から1年後

友愛会で働いている友愛人 —ゆうあいびと—

整形外科 大里恭平 医師

友愛会で働く職員を紹介する「友愛人」。今回は、福岡大学からの派遣医師として2019年から友愛医療センター整形外科に勤務している大里恭平医師にお話を聞きました。

2019年から当院で勤務されているということですが、その経緯をお聞かせください。

福岡大学からの派遣医師として赴任しました。以前は市中の外傷病院で一般外傷を、その後大学の救命センターで重度四肢外傷などを主に診て多くの経験を積みましたので、次は膝関節が勉強したいと思っていました。友愛医療センターは膝関節の治療で全国的にも有名な病院で、新垣晃先生、毛利正玄先生の下で学びたいという思いがあり自ら希望して来ました。

また、沖縄には旅行でたびたび訪れていて住んでみたいなという思いもありました。



ご出身は？

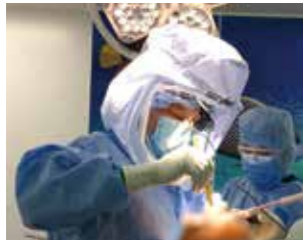
「大里」という名字から沖縄出身と思われることも多いのですが、読み方は「おおさと」で出身は長崎県佐世保市です。

当院、沖縄に来て驚いたことはありますか？

友愛医療センターは整形外科はもちろん、ほかの診療科でもドクターの数が多いことに驚きました。まるで大学病院みたいで。

沖縄に来て一番カルチャーショックに感じたのは患者さんの名字が読めないことでした。「仲村渠」さん、「金武」さんなど全く読めない名字が多くて、それが一番大変でした。今では初めて見る名字でもなんとなく読み方を予想できるようになってきました(笑)。

先生から見た当院整形外科の強み・特徴はなんですか？



人工膝関節置換術中の様子

市中病院では珍しく各パーツ(分野)に専門の医師がいて、その分手術件数も多い。特に人工膝関節置換術の手術件数がとても多く、私も赴任した最初の年から数多くの手術を担当してきました。そのおかげで、今では人工膝関節置換術についてはかなり自信を持てるようになりました。

また、診療科内の雰囲気も良く、どのパーツの先生に聞いてもすぐに相談に乗ってくれるのでありがたいです。

看護師やリハビリスタッフも非常に優秀で、病棟やリハビリに関してはそれぞれの担当スタッフに安心して任せられます。

患者さんと接する際に心がけていることはありますか？

整形外科はご高齢の患者さんが多いこともあり、できるだけ分かりやすく説明してきちんと理解してもらえるように心がけています。

また、膝が悪くても元気な患者さんが多いので、しっかり治してあげてさらに元気になってほしいという思いで治療にあたっています。

今後の目標をお聞かせください。

今後は人工関節置換術や骨切り術、靭帯の手術などのクオリティーをさらに高めたいです。

また、これからは後輩の育成にも力を入れていけたらと考えています。上の先生方から頂く刺激はもちろんですが、後輩たちからもたくさんの刺激をもらっています。

プライベートでは、沖縄の離島に行きたいです。一番行ってみたいのは宮古島。あとは子どもたちを県内のいろいろな場所に連れて行って様々な経験をさせてあげたいです。

必見!

外出しない今こそ骨折予防!



永山盛隆
人工関節センター長

新型コロナウイルス感染症の影響で外出やリハビリなどへ通う機会が減少しているなか、特に高齢者の骨折リスクが高まると言われています。その背景や、自宅で簡単にできる骨折予防などについて、当院整形外科人工関節センター長の永山盛隆医師にお話を聞きました。

▶外出する機会が減っているなかで骨折のリスクが高まる背景とは？

昨年来の新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛などによって、ストレスを感じ食事やおやつの回数・量が増えたこと、運動する機会が減って体重が増えると同時に体力や身体能力が低下したことで「ロコモティブ・シンドローム(ロコモ)」となり、骨折される方が増えているようです。ロコモとは、骨・関節・筋肉・神経などの運動器の機能が衰えて立ったり歩いたりする身体能力が低下した状態を言います。ロコモに対する認知対策や予防が不十分な沖縄県では、以前から運動不足からくる骨折や骨粗しょう症の患者が増加傾向にありました。

▶骨折予防のために日常生活でできることは何ですか？

まずは活動しやすい、ご自身の適正体重を知りキープすることが重要です。太りすぎには注意が必要です。少しの減量でも膝の痛みが軽減し、動きやすくなったと実感できると思います。逆に痩せすぎると筋力低下や骨粗しょう症につながりやすくなったり、パワーダウンしてつまずいたりします。

日ごろから歩く機会を増やし、とにかく足を使うことを心がけてみましょう。エレベーターに頼らない階段昇降は絶好のトレーニングチャンスです。ぜひ実行してみてください。カレンダーなどにメモで記録を残すと意識も上がります。

▶気軽にできるおすすめ体操はありますか？行う際の注意点と併せて教えてください。

いちばんのおすすめは10分弱のラジオ体操です。誰もが知っている全身運動でテレビやラジオでも放送されているので気軽に習慣化できると思います。無理せず、軽い気持ちでできることをしましょう。継続が大切です。

今回は、いつまでも元気な足腰であるための「ロコトレ(ロコモーショントレーニング)」をご紹介します。

ロコトレ

ご自身に合った安全な方法で無理せず行いましょう。動作中は息を止めないようにしましょう。

ふくらはぎの筋力をつけるヒールレイズ

①両足で立った状態でかかとを上げる

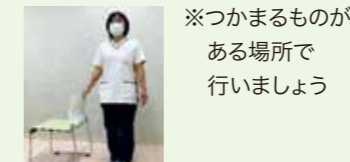


②ゆっくりかかとを降る



バランス能力をつける片脚立ち

①姿勢をまっすぐにする



※つかまるものがある場所で行いましょう

②床につかない程度に、片足を上げる



足の筋力をつけるスクワット

①肩幅より少し広めに足を広げ、つま先は30度ずつ開く



②お尻を後ろに引くように2~3秒間かけゆっくりと膝を曲げ、ゆっくり元に戻す



※膝がつま先より前に出ないように注意しましょう

ロコモに関する詳しい情報は下記QRコードから動画をご覧ください。

(沖縄県整形外科医会の動画ページに移動します。)



ロコモって何だろう?



ロコモ診断と予防



ロコモと骨粗しょう症

リハビリテーションセンターをご紹介します！

豊見城中央病院リハビリテーションセンターでは、急性期医療を終えた回復期のリハビリテーションをはじめ、内科などの保存治療（薬物療法や理学療法など）の対象となる方の急性期リハビリテーションや、透析などを必要とされる維持期の方のリハビリテーションを実施しています。

現在、同センター内リハビリ室の拡張・改修工事を行っており、今後さらに充実したリハビリテーションを提供してまいります。



呼吸療法や心臓リハビリ、住環境コーディネートなどさまざまな分野の専門資格を持った総勢90人のリハビリスタッフがそれぞれ外来リハビリ、入院リハビリ、訪問リハビリなどを行っています。

〈リハビリスタッフメンバー〉

理学療法士 (PT) : 51人
 作業療法士 (OT) : 30人
 言語聴覚士 (ST) : 6人、助手 : 3人
 (2021年3月現在)

次のようなリハビリを行います



外来リハビリ

退院後の不安を取り除くため週に1~2回通院し、筋力トレーニングや荷物の持ち上げなど職場や学校生活に必要な、日常生活動作よりも一歩踏み込んだリハビリを行います。



訪問リハビリ

理学療法士がご自宅を訪問し、マッサージなどの実施や福祉用具の提案、ご家族の介助方法への助言などを行います。



心臓リハビリ

リハビリ中の患者さんの状態を確認するため、常に医師・看護師・理学療法士・健康運動指導士・薬剤師が立ち合い、運動療法だけでなく生活指導や食事指導なども行い、病気の再発予防に向けた自己管理ができるようにします。



がんリハビリ

県内でも実施医療機関が少ないがんリハビリは、緩和ケアの一環としてQOL（生活の質）の向上を目的にドッグセラピーや花見、折り紙など患者さんの日常生活を充実させるものを行います。看護師・介護士・メディカルソーシャルワーカーがご家族と相談し、患者さんのご希望に沿ったリハビリを行います。

在宅復帰に向けての取り組み

患者さんが住み慣れた生活環境をイメージしたりハビリに取り組みしており、必要があればご自宅の環境調整に赴き、トイレの便座から立ち上がりやすい手すりの位置や高さ、形状を提案するなど在宅環境の改善を支援します。

手すり設置の提案



Renewal

回復期リハビリテーション病棟をご紹介します

回復期リハビリテーション病棟（以下 回復期リハ病棟）は、その名の通り入院中のリハビリに特化した病棟で骨折などの整形疾患や脳血管疾患により日常生活に支障を来した患者さんを対象に、生活に必要なさまざまな日常生活動作の向上と再獲得を目指し、在宅復帰、社会復帰を支援します。

リハビリ室の拡充、入院病床の増床を経て、より充実した環境でリハビリを提供してまいります。

病棟の特徴

○ 入院中は毎日リハビリを実施

他病棟では日曜日などリハビリを行わない日もありますが、回復期リハ病棟では理学療法士などのリハビリスタッフが365日常駐し、入院中は毎日リハビリを行える環境を整えています。

○ 多職種が連携して患者さんのリハビリに介入

患者さんの持っている能力を最大限引き出せるよう、リハビリスタッフだけでなく医師・看護師・介護士・メディカルソーシャルワーカーが連携して入院患者さんのリハビリ計画を作成、支援します。

また、リハビリ時間以外でもお一人おひとりの状態に応じて病棟での移動・食事・整容（身だしなみを整えること）・排泄動作を含めた入院生活にリハビリの視点を取り入れています。

○ 専用のリハビリ室

他病棟に入院中でリハビリが必要な患者さんは、入院している病棟と別フロアにあるリハビリテーションセンター（前頁参照）に移動しリハビリを行います。回復期リハ病棟には専用のリハビリ室があり、看護師などの病棟スタッフがリハビリ中の患者さんの状況をいつでも確認できるほか、患者さん・看護師・リハビリスタッフの距離が近いため、より密接なコミュニケーションを取ることが可能です。

入院中は毎日3時間のリハビリを行います。



長下肢装具を着用しての立位訓練



上肢の可動域訓練

定期的に多職種でのカンファレンスを実施

スタッフカンファレンス

入院の際に患者さんの目標を確認し、退院後の生活スタイルを考慮したリハビリプログラムを組みます。

リハビリカンファレンス

医師やその他スタッフ同席のもと、患者さんのご家族へ現状報告やリハビリスケジュールの相談などを行います。



専用リハビリ室をリニューアルし、広々とした環境でリハビリが行えるようになりました。

その他の活動

現在は新型コロナウイルス感染対策に十分配慮し活動しています。

- ◆ 毎月第3週目をADL※週間と位置づけ、「立ち上がり・排泄・食事・ラジオ体操」など日常生活の1項目に視点を当てた取り組みを強化する活動を行っています。 ※) ADL (=Activity of Daily Living: 日常生活動作)
- ◆ さまざまな行事イベント（運動会・敬老会・クリスマス会など）を開催しています。
- ◆ 退院後の生活に向けてリハビリスタッフがご自宅を訪問して家屋調査を行い、必要があれば手すりの設置の提案などの環境調整を行います。



ADL週間「立ち上がり週間」には廊下の手すりを使い自力で立つ練習をします



認定看護師を招いての病棟内勉強会



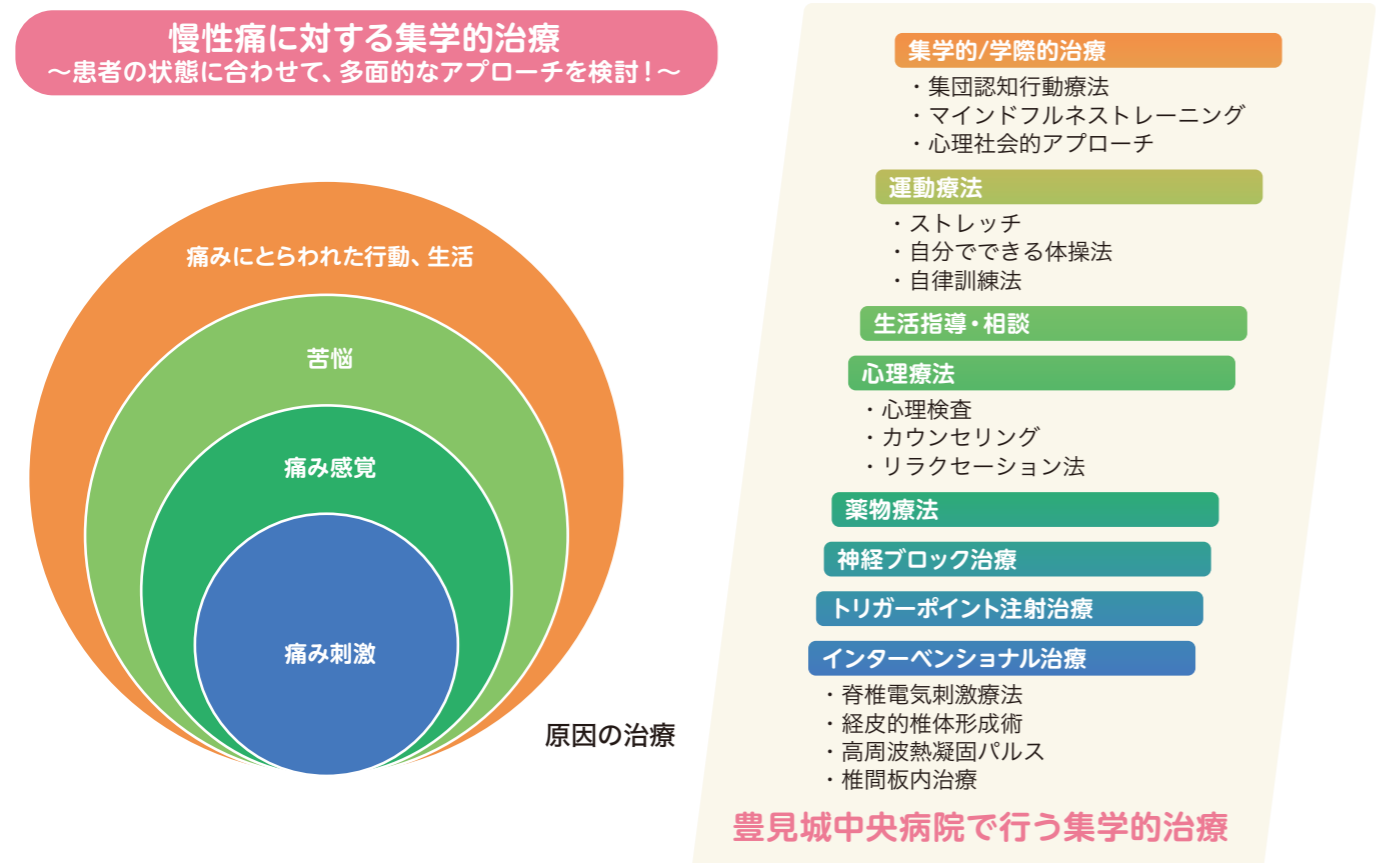
昨年の移転時には一致団結して患者さんを安全に移送することができました

豊見城中央病院では慢性痛の治療にチームで取り組んでいます!

病気や怪我による痛みは一過性であり急性痛と呼ばれます。中には、病気や怪我などの原因となっている傷病が改善しても痛みが続いたり、新たな痛みを感じたりすることもあります。このように長く続く痛みを慢性痛といいます。痛みが長く続くと、仕事や家事など日常生活に支障を来し、「この痛みはきっと良くならない。自分は何もできない」という否定的な考えや抑うつ気分、不安が生じやすくなります。そうなると、より強く痛みを感じるようになるという悪循環に陥ることが指摘されています。

豊見城中央病院では、痛みを部分的な問題として捉えず、痛みに関連した人間関係や経済的心配など体と心の苦痛や苦悩・社会的苦悩との相互関係から生じるトータルペイン（全人的な痛み）として捉え、患者さんやそのご家族、多職種で話し合いながら集学的に治療を行うため、全人的痛みセンターを2020年8月に立ち上げました。

同センターでは、慢性痛だけではなく、がん性疼痛や非がん性疼痛などのさまざまな痛みに対しても多職種で多様な治療を行っています。このような治療ができる医療機関は全国的にもまだ少なく、同センターは厚生労働省の「慢性疼痛診療システム普及・人材育成モデル事業」の施設に指定されるなど先駆的な治療を行っています。



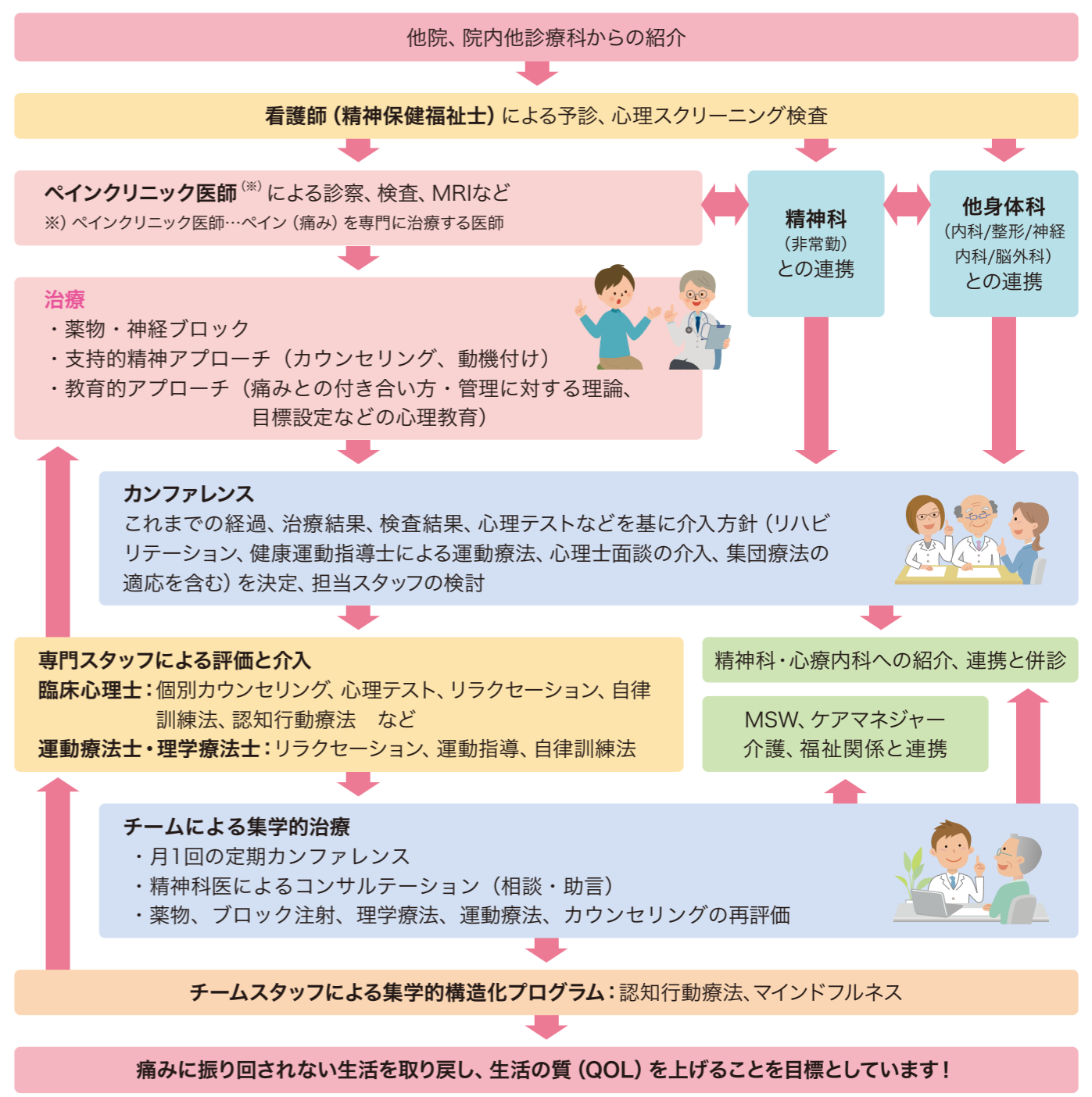
急性痛と慢性痛の治療は異なる!

急性痛は、痛みの原因となっている怪我や病気の治療を行い改善することで、自然と痛みも消失・軽減していきます。「痛みに対する治療」というよりも、「痛みを抑えるための治療」を行います。

しかしながら、慢性痛は複雑な要因が絡み合って生じることが多く、痛みを抑える治療に加えて、痛みにとられない生活も目標とした心理療法や運動療法、認知行動療法などを用いて、痛みに対する反応や思考パターンを変えるなどの教育・指導的なアプローチも重要になります。

そのため、多職種で構成されるチームで患者さんの治療を行う体制が必要であり、豊見城中央病院はそれができる体制になっています。

集学的診療の流れ 豊見城中央病院では患者さんのQOLの向上を目指し、定期的に多職種でのカンファレンスや評価を行いながらチームで治療にあたっています。



かかりつけ医や地域の医療機関の先生方と連携しながら長く痛みでお困りの皆さんの暮らしや治療のサポートをしていきます!
かかりつけ医とご相談の上、まずはお電話ください。

豊見城中央病院 全人的痛みセンター
TEL:098-851-0501 (病院代表)

介護老人保健施設 友愛園は 開設30周年を迎えました

ことし2月に開設30周年を迎えた友愛園。新たに
着任した施設長からのご挨拶や友愛園の取り組み
などについてご紹介します。

就任挨拶
新城哲治 施設長



このたび友愛園は開設30周年を迎えることができました。当施設職員の絶え間ない努力と、友愛会各事業所の協力、そして地域の皆様のご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。

当施設は介護老人保健施設（老健）です。一般の方々の中には、老健は介護保険の利用できる有料老人ホームと認識されている方もいらっしゃるようですが、現在の老健は「在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となる施設」と定義されており、当施設は「超強化型老健施設」に認定されています。具体的には入所サービスだけでなく、ショートステイ、通所リハビリテーションを提供し、またご利用者に人生の最後を穏やかに過ごしていただくための「看取り」も行っています。

今年1月に当施設へ赴任して気付いたことの一つは、ポリファーマシー（多剤併用）※の状態に入所される方が多いことです。老年病学会等では、5剤以上の併用で認知症の増悪・転倒リスクの増加・余命の短縮が指摘されており、当施設では薬剤師と連携し、向精神薬等を減らすようご利用者の処方薬の整理を行っています。また、豊見城中央病院循環器内科医長の井上卓医師が中心となり、南部地区の医療機関（循環器）と連携して南部地区各医療機関へ通院されている患者さんの心房細動の予後を見る“南部スタディー”では、超高齢になると血圧が低下してくることが示されています。当施設に入所されている高齢者の中には、高血圧の病名がついて降圧剤を服用されている方がいらっしゃいますが、薬によって血圧が下がりすぎないように降圧剤を減らすなど薬剤の調整を行い、血圧をコントロールしております。

当施設は今後も元気になるご利用者を増やすことを目指し、リハビリだけでなく薬剤調整も行いながら、これまで同様明るく、多職種間で連携を取りながらより良いサービスを提供してまいります。

※ポリファーマシー…多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態。

新城施設長 略歴

- 1984年 京都府立医科大学 卒業
- 1986年 国立循環器病センター心臓血管内科 入職
- 1989年 社会医療法人友愛会豊見城中央病院 入職
- 2009年 同院循環器内科 部長
- 2014年 社会医療法人友愛会南部病院 副院長
- 2021年 社会医療法人友愛会介護老人保健施設友愛園 施設長



当施設ご利用者の日々の診察も施設長の役割です。

友愛園の体制をご紹介します

介護老人保健施設（老健）とは、専門スタッフによるリハビリを通じてご利用者が在宅復帰することを目的とした、介護保険が適用される施設で、入所中は介護・看護といったサービスに加えて、医師のサポートを受けられるのが特徴です。

友愛園では、要介護状態・要支援状態にあるご利用者・ご家族が安心して自立した生活を続けられるよう、医療・介護・看護・リハビリテーションから栄養管理まで、さまざまな専門職が多職種で連携して支援します。



何度でも
ご利用できます



「時々入所、ほぼ在宅」

このような方が対象です

病院から退院される方

現在、ご自宅で生活されている方

具体的には

- 退院間近だが病気への不安がある。もうしばらく施設で療養し医療や看護を受けながらリハビリに取り組みたい。
- 階段昇降などの生活動作の低下、昼夜逆転といった認知症の症状の進行など在宅生活の中で不安があり、筋力アップのためのリハビリや規則正しい生活を通して元気になりたい。
- 骨折後、術後などにリハビリを受けたい。
- 「立つ」、「座る」の動作の不安を解消したい。
- 衣類の着替えやトイレなどの日常生活に関する動作が上手になりたい。

リハビリの内容については、次ページで詳しくお伝えします！

入所中こんなことも！

- ご家族への介助方法指導
- 外出、外泊のご提案
- ご自宅の環境調整（手すり設置、段差解消、家具配置に関するアドバイスなど）

✦ アフターフォローも充実

退所後1ヶ月以内に専門職員（リハビリスタッフや介護スタッフ、支援相談員）がご利用者のご自宅へ訪問し、心身の状態や生活の様子などご自宅に帰ってからの困りごとについて親切・丁寧に相談にのります。

友愛園は超強化型施設です

超強化型施設とは、厚生労働省が定める要件を満たした、在宅復帰・在宅支援機能がより高いと評価されている介護老人保健施設で、県内では当施設を含め15施設が超強化型の認定を受けています。



私たちが全力で
サポートします！

どのようなリハビリをするの？

友愛園ではご利用者お一人おひとりの状態に合わせて次のようなリハビリを行います。



▼ 階段昇降の練習



▼ 起き上がり動作の練習



▼ 居住空間での立位練習



▼ 居住空間での歩行練習



▼ 成果が実感できる！



ご利用者の歩き方などの動画を撮影し、動作の課題や改善具合を分かりやすく説明します。

Point

- 在宅生活（ご自宅）に近い環境を設定します。
- 生活上の動作すべてを想定したリハビリを行います。
- 入所後、ご自宅を訪問し環境面のアドバイスや家の構造を踏まえた訓練メニューをご提案します。

ご利用者が生活の中でできることを増やす！
それが「友愛園」です。

その他・・・

お一人で体を動かすことができないご利用者のベッド上での姿勢を調整し、褥瘡（床ずれ）や拘縮（体が固くなること）の予防や、座る姿勢を調整して食事動作を行いやすくすることなどに取り組んでいます！

私が担当します！



豊里一貴 作業療法士

Q どんな思いで入所者のリハビリを行っていますか？

A リハビリを一緒に楽しむことを心がけています。やらないといけないと感じさせるより、「一緒に頑張りましょう！」という思いです。

Q 入所を考えている方・ご家族へのメッセージをお願いします。

A ご利用者が安心してご自宅や地域へ戻れるように、ご本人やご家族の意向を確認しながら生活目標に合わせたリハビリを行います。些細なことでもお気軽にご相談ください。

☎ まずはお電話ください

「どのような運動をするの？」「どんな専門職員がいるの？」
友愛園のリハビリテーションプログラムや施設・設備などについて、
心を込めてご案内します。お気軽にお問合せください。

【お問合せ先】

介護老人保健施設 友愛園

TEL:098-856-4707(支援相談課)

友愛会で働いている友愛人 - ゆうあいびと -

「友愛園 ともに歩んで 30年」

友愛園 入所介護課 金城享子課長

友愛会で日々業務に励む職員を紹介する「友愛人」。今回は、友愛園の開設準備から携わりその歴史を築いてきた一人、入所介護課の金城享子課長にお話を聞きました。



友愛園入職のきっかけは何ですか？

専門学校で介護福祉士の資格を取得し、就職先を探す際に友人から「新しくできる所に一緒に応募してみない？」と誘われたのが友愛園でした。当時は介護福祉士制度ができて間もなく、資格保有者を積極的に採用する施設が少ないなか、友愛園は資格保有者を広く募集していて「資格を活かせる」と思い、開設の半年ほど前に入職して、開設に向けた準備から携わりました。

30年間友愛園で続けてこられた理由は何ですか？

一番の理由は“使命感”です。先ほども話したように当時は介護福祉士という専門職ができたばかりでしたので、後輩たちをしっかりと指導し介護福祉士の質を高めていくことが自分の使命だと感じ、自らも勉強しながら後輩の指導や学生の実習受け入れなど後進の育成に力を入れてきました。
また、友愛園は母体が病院ということもあり、開設当初から衛生管理がしっかりしていて福利厚生も充実し、当時から安心して働ける環境だったことも大きいです。

この30年間で変わったなと思う部分はありますか？

かつてはこの辺り一面畑でして、園の近くにあった豚舎まで利用者さんと散歩に行き「美味しそうねえ」なんて話していました（笑）。
また、以前は施設内に利用者さん向けの喫煙コーナーがあり、廊下がタバコの灰で黒くなるので、喫煙コーナーをどこに設けるかを考えるのも私の役割でした。今では考えられませんが。



開設の翌年（1992年）、ご利用者とのレク活動中、同期と撮った一コマ（右が金城課長）

30年間でつらかったことはありますか？

つらかったことは…うーん、思い付かないですね。お年寄りが大好きなんです。利用者さんの姿を見ると嬉しくなるし、疲れた時には私の方が話を聞いてもらって「あんまり頑張りすぎないよー」なんて励まされたりして。利用者さんから頂く癒しに支えられたのかもしれないですね。

今後の抱負をお聞かせください。

コロナの状況が落ち着いたらもっと地域の方々と交流し、皆さんが困っていることなどをお聞きして対応していきたいと考えています。

また、今は課長として介護課の管理業務が中心なのですが、もっと現場に出て利用者さんと触れ合いたいですね。

同僚からひと言

入所介護課 竹西智美 主任

金城課長は介護に対するプロ意識がすごく高いです。その反面、天然な面もありますけど（笑）。
また、人を楽しませることが好きで余興などの時も自ら率先して前に出て、自分が一番楽しんでいます。人を楽しませることは介護には必要なので見習いたいと思いますね。



打ち合わせ中の金城課長と竹西主任（左）

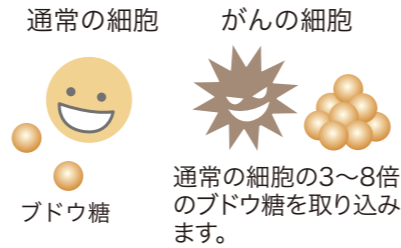
PET検査でがんを発見!

豊見城中央病院附属 豊崎クリニックでは、PET検査を行っています。
ここではPET検査の概要や当クリニックの特徴についてご紹介します。

PET検査とは?

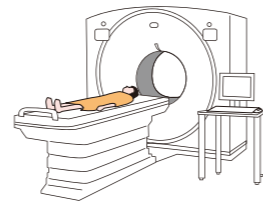
PET検査はがん細胞が通常の細胞に比べて多くのブドウ糖を消費するという性質を利用した画像診断方法です。

ブドウ糖に類似した「FDG」と呼ばれる薬剤を注射し、約1時間後に撮影して、FDGが多く集まる部位を画像から特定することで診断します。一度の検査で体の広い範囲を撮影できるので、がんの早期発見や転移・再発の発見に有用です。



FDG注射

FDG注射後、薬が体内に広がるまで約1時間安静にします。



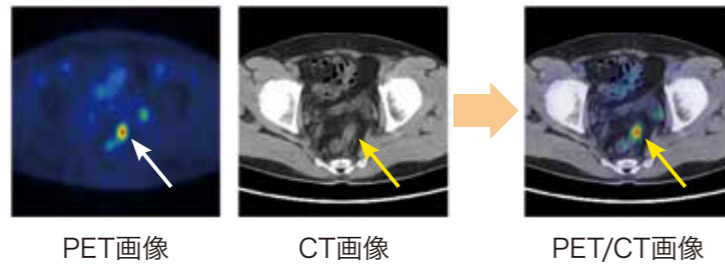
PET装置による撮影

PET検査とCT検査を組み合わせたPET/CT検査

一方で、PET検査のみでは発見しにくいがんもあります。

そこで臓器の形をしっかりと映し出すことができるCTと組み合わせることで、より正確な診断を行うことができます。これをPET/CT検査といい、現在の一般的な検査となっています。当院では2台のPET/CT装置を運用し、がんの早期発見を目的とするPETがんドックと、がんと診断された方の再発・転移の有無などを確認する検査を行っています。

〈当院でのPETがんドックで発見された大腸がん症例〉



当クリニックの特徴について

●丁寧な検査

当院では、一度撮影したPET/CT画像を医師がすぐに確認し、気になる点がある場合は追加撮影を行い、より精度の高い検査を心がけています。

●ダブルチェック

小さな病変の見逃しを減らすため、がんドックの読影を医師2人で行います。

●当日結果説明

がんドックの際、受診者の負担を減らすため、クリニックに何度も足を運ぶことがないように撮影後は同日中に医師による結果説明を行います。

●法人内連携

がんが疑われる場合は法人内の友愛医療センターへ紹介・予約を行い、スムーズな病院受診につなげます。(他院を希望される場合はご希望の医療機関へ紹介します。)

友愛会が誇る医療技術者

PET/CT検査の際に装置を操作するのが診療放射線技師です。
当クリニックの診療放射線技師の役割などについてご紹介します。



豊崎クリニック 医療技術科 西改睦月 主任

▼ PET/CT検査における診療放射線技師の役割は何ですか?

私たち診療放射線技師の役割は、検査で使用する薬の製造・管理及び検査(撮影)です。

診療放射線技師が薬の製造というと意外に感じるかもしれませんが、検査で使用する薬は放射性医薬品で、当クリニックでは診療放射線技師が薬を製造し、薬剤師が品質チェックを行います。

県外では製薬メーカーが製造した薬を購入し、検査施設まで届ける事も多いですが、PET/CT検査で使用する放射性医薬品(18F-FDG)では放射能の量が半分になる時間(半減期)が110分と短く沖縄県では自施設での製造が必要となります。体内に注射する放射性医薬品となりますので、製造する部屋は常に清潔な状態であるよう細心の注意を払っています。



薬を作る装置

▼ 検査時に心がけていること・気を付けていることは何ですか?

検査を行う上で一番心がけているのは、受診者への“心づかい”です。

当クリニックではがんドック及びがんと診断された方の再発・転移の有無を調べる検査を主に行っていますが、受診者の中には閉所恐怖症の方や、病気によって心理的に落ち込んでいる方も少なくありません。そのような方々の不安を少しでも取り除けるように、受診者の様子を見ながら検査前・検査中にお一人おひとりにあった声掛けをするなど常に気を配っています。

PET/CT検査は、初めに全身のCTを撮影、その後にPETカメラで撮像し、CT及びPETの画像を重ねて診ることができます。CT及びPETの撮影時に受診者の体の位置ズレが生じると正確な画像が作れず、正しい診断ができません。

正確な画像を撮影するために受診者へは検査中に動かないよう説明しますが、そのことで緊張してしまわないよう、声掛けの仕方など配慮しています。



薬剤師による品質チェック



検査時の様子

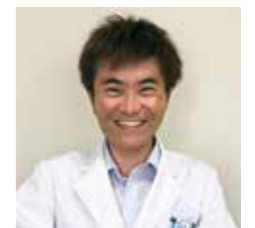
▼ 今後の意気込みをお聞かせください。

撮影時の検査時間短縮・被ばくの低減が課題です。また、PET/CT検査は来院から帰るまで約3時間かかります。各部署とも連携をとりながら受診者の負担軽減となるように取り組んでいきたいと思えます。

医師からひと言

豊崎クリニック 小渡宏之 院長

前頁でも触れましたように、当施設ではより精度の高い検査を心がけており、気になる画像が描出された際に病変か否かの確認目的で追加撮影を行うことがあります。今後も診療放射線技師との連携を密にして被ばく量と精度を考慮した検査を進めたいと考えます。



ヒトトナリ、シゴトナリ

このコーナーでは、友愛会職員の工作中的真剣な姿とは違ったプライベートな一面を少しだけお見せします。

入職8年目の28歳。友愛医療センター内の生命維持管理装置の操作とメンテナンスに携わり、多くの時間は手術室内の人工心肺操作業務に従事。常に緊急、イレギュラーな対応を迫られる現場でハートチームの一員として日夜、切磋琢磨している。

3年前、周囲から「太ったね」と言われたことをきっかけに「ダイエットしよう!」と一念発起しロードレース用の競技自転車を購入。本人曰く「中途半端なことが嫌い」な性格で、トレーニング計画を立て、食事のバランスを考え、仕事を終えた後に週300*~500*を走り(因みに沖縄本島の最南端・喜屋武岬から最北端・辺戸岬までは136*)、運動時の心拍・酸素濃度の計測を続けるという徹底ぶり。

そして「何か高い目標が欲しい」と、自転車に乗り始めてから3ヶ月後、自転車レースの国内最高峰「ツール・ド・おきなわ」の一般市民チャレンジ

50*クラスに出場し、そこでなんといきなりの2位入賞。2020年に県内で唯一開催されたレースでも3位入賞を果たした。この記事の取材中には南城市で開催された「第32回新春ロードレース大会」でついに優勝し、「新星」と称されて新聞のスポーツ面を大きく飾った。

そして気付けば2年で体重は15*減。競技者としての成績が立派すぎて忘れていたが当初の目的はダイエット。それも十分に達成してしまった。

自転車の魅力は「没頭できる時間とトレーニングの計画や調整の面白さ」と話す。今後の目標は、屋我地島ロードレースで入賞し、国体への出場資格を取得すること。その理由について「カッコいいでしょ。国体選手!」と軽やかに返答。

友愛医療センターから国体選手が出ることを願って、陰ながら応援しようと心に誓った筆者であった。



#002

石川 裕彬

友愛医療センター 医療技術部
臨床工学科 副主任
職種:臨床工学技士



管理栄養士
監修
☆☆☆

旬の食材を使用したメニュー サワラの梅肉蒸し

1人分 エネルギー/232kcal
塩分/1.9g



材料(2人分)

- サワラ(切り身)..... 2切れ
- 酒..... 大さじ 1/2
- 長ネギ..... 1/4本
- 大葉..... 5枚
- プチトマト..... 4個
- ★梅肉ソース
- 梅干し..... 中3個
- 酒..... 小さじ1/2
- みりん..... 小さじ1/2

〈サワラの選び方〉

腹と背の色の対比がはっきりしており、体が銀色に輝いているものを選びましょう。切り身の場合は身が割れておらず、血合いが黒ずんでいないものがおすすめです。

ひと手間アレンジ /

バーナーなどで軽く炙ると更に美味しくなります♪

作り方

- ①サワラは皮と骨を取り除き、厚さ1cm程度の一口大に切り、酒をまぶしておく。
- ②梅干しの種を取り、包丁で叩いてペースト状にし、酒、みりと混ぜる。
- ③長ネギと大葉は千切りにして水にさらし、水気をよく拭く。
- ④耐熱皿にサワラを並べて、②の梅肉ソースを塗り、ラップをして電子レンジ(500w)で約3分加熱する。
- ⑤皿に盛り、③の野菜とプチトマトを添える。

サワラは漢字で「鱈」と書くように「春を告げる魚」と言われていて、カルシウムの吸収を促すビタミンDが豊富に含まれており、骨や歯の強化をサポートします。また、DHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸)も多く、コレステロールを下げる働きが期待できます。



管理栄養士 金城さん

編集委員レポート

友愛医療センター 救急搬送時のヘリポート使用について 各機関と連携強化



海上保安庁と協定締結

友愛医療センターは2月22日、沖縄の海を管轄し海上保安業務を行う第十一管区海上保安本部と屋上ヘリポートの使用に関する協定を締結しました。

これまで海保ヘリが傷病者を当院へ搬送する場合、一度那覇空港内の第十一管区海上保安本部那覇航空基地へ着陸し、そこから当院まで救急車で搬送していましたが、本協定締結により海保ヘリによる当院への直接搬送が可能となることで、搬送時間が短縮され救命率の向上につながる事が期待されます。

医療機関と海上保安庁との協定締結は県内で2例目となります。締結に先立ち行われた訓練では当院救急科スタッフ、那覇航空基地機動救難士、パイロットらが連携し、洋上から当院1階のER(救急フロア)までの患者搬送の流れを確認しました。



訓練時の様子

ご挨拶



友愛医療センター
新崎 修 院長

2020年8月に開院した友愛医療センターでは、島嶼県である沖縄で災害・急病の患者様へ救急医療提供を迅速に行うためにはヘリ搬送受け入れ態勢が欠かせないと考え準備してきました。

屋上ヘリポートからは専用エレベーターを使用して救急室・手術室へほぼダイレクトに搬入が可能となっており、さらなる治療開始までの時間短縮・救命率の改善に向け院内スタッフ皆で連携して取り組んでいます。沖縄県の課題の一つである離島・へき地医療提供へ貢献できるよう愚直に進めていきます。



第十一管区海上保安本部
葛西 正記 本部長

協定締結に際し、新崎病院長をはじめとしまして友愛医療センター様には事前に重ねて参りました検証訓練の段階から多大な御支援・御協力を頂いており、この場をお借りし深謝申し上げます。

今回の協定締結によって、患者様の搬送時間が短縮され、救命率の向上も期待できることから、第十一管区海上保安本部としましては非常に心強く感じているところです。この機能を最大限に活用し沖縄県民の皆様の安全・安心をしっかりと守ることができるよう引き続き万全を期して参ります。

東日本大震災から10年 航空自衛隊と訓練実施

東日本大震災の発生から10年を迎えた3月11日、友愛医療センター屋上ヘリポートで、航空自衛隊南西航空方面隊と救難ヘリ離着陸訓練を実施しました。離島及び洋上を含む沖縄県周辺部での災害発生時や救急患者空輸所要発生時の当院屋上ヘリポート使用により、人命救出数の向上及び搬送時間の短縮が期待されます。



同訓練は、当院屋上ヘリポートの離着陸シミュレーションを行って緊急時の対応能力の向上を図ること、そして東日本大震災の記憶の風化による防災意識の低下が懸念される中、震災から10年となる日に訓練を行うことで、いつ発生するか予測できない災害に備えて今いちど防災への意識を高めることを目的として実施し、地震発生時間の14:46には関係者らが黙とうを行いました。

今後両者は定期的に訓練を実施し、災害時や急患搬送時に迅速な対応ができるよう連携を深めていく予定です。

【ゆうあい編集後記】 今回は開設30周年を迎えた介護老人保健施設 友愛園について特集しました。この節目の年に施設長に就任しました新城医師のご挨拶や、地域における友愛園の役割についてご紹介しています。また、「管理栄養士監修レシピ」では旬の食材を使ったヘルシーメニューを掲載しております。各ページが皆様の健康の手助けとなれば幸いです。(広報誌編集委員・金城能智)



〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎1番412

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院附属

豊崎クリニック 沖縄PET画像診断センター

TEL:098-840-5151

受付時間 (月～金) 8:30～17:30
(土) 8:00～17:00

休診日	水曜、日曜、祝祭日
-----	-----------



〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎3番49

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院附属

健康管理センター

TEL:098-852-2000

受付時間 (月～土) 9:00～15:00

※土曜日は不定期で営業していますので事前にお問い合わせください。

県内初の男女別検査フロア

休診日	土曜 (当センターカレンダーによる) 日曜・祝祭日
-----	------------------------------



〒901-0243 沖縄県豊見城市字上田25番地

社会医療法人友愛会 介護老人保健施設

友愛園

TEL:098-856-4707

窓口対応時間 8:30～17:30

日曜・祝祭日の窓口業務はお休みです。

社会医療法人友愛会 **豊見城中央病院介護事業部**
TEL:098-851-5234(代表) 〒901-0243 沖縄県豊見城市字上田25番地

- ホームヘルパーステーション友愛
TEL:098-851-9413
〒901-0243 豊見城市字上田25番地(豊見城中央病院内)
- 友愛会ケアプランセンター
TEL:098-850-4165
〒901-0224 沖縄県豊見城市字与根50番地5
(友愛医療センター内)
- 友愛会訪問看護ステーション
TEL:098-851-9414
〒901-0243 豊見城市字上田25番地(豊見城中央病院内)
- 豊見城市地域包括支援センター友愛
TEL:098-850-1324
〒901-0243 沖縄県豊見城市字上田25番地
- 豊見城中央病院ケアプランセンター
TEL:098-851-9408
〒901-0243 豊見城市字上田25番地(豊見城中央病院内)

